



— みんなに やさしい のびゆくまちづくり —

平成 21 年度に宮野地区に「地域づくり協議会」が設立され、地域の皆さんが「安心」して住みよい「宮野づくり」を目指して、地域課題の解決に向けて各種事業に取り組んでいます。地域課題について広く皆様より意見をお聞きして、計画を策定し活動に結びつけてきました。

しかし、いかなる「取り組み」も地域社会の変化とともに、最適なものではなくなっていきます。従って、「取り組み」は、定期的に見直しをかけ、変化を把握して最適な方法となるように組み替える必要があります。

今年度が見直しの時期となり「地域課題の見直し」をするために、昨年度末に「アンケート調査」を実施し、集約の結果をもとに「第二期宮野地区地域づくり計画」を策定いたしました。

アンケート調査結果をすべて紙面に掲載することはできませんが、一部の紹介と「第二期地域づくり計画」をお知らせいたします。

なお、「アンケート調査報告書」「2 次分析報告書」を宮野地域交流センターロビー書棚に備えていますのでご覧ください。

宮野地区第二期地域づくり計画について ～アンケートの目的と集計結果の報告～

調査の目的と概要

本調査は宮野地区の「第二期地域づくり計画」を策定するにあたり、地域住民の生活課題等を把握することを目的として実施いたしました。

○調査主体：みやの地域づくり協議会／山口県立大学（共同研究代表 坂本俊彦教授）

・調査票設計、データ集計・分析、報告書の作成は山口県立大学が実施

○実施時期：2014 年 1 月～2 月

○調査方法：自記式、単位町内会長による配布及び回収

○対象者抽出法：層化抽出（年齢及び性別比率に従い該当数を 42 町内会に割当）

○調査対象者：宮野地区在住の 18 歳以上男女（年齢の上限は設定していない）

○配票回収数：配布数 500、有効回収数 477、回収率 95.4%



◇アンケート調査票の内容について紹介します。4部構成になっています。

(1) 個人属性(フェイスシート)

【最初に、あなたご自身の事柄についてお尋ねします】

・地域への居住歴 ・職業 ・世帯の状況 ・近所付き合い ・地域への思い 等

(2) 山口市まちづくりアンケートから流用した地域に対する評価と参加度について

【あなたの地域に対する評価と地域への関わりについてお尋ねします】

問 1～26

- ・問 1；住みやすさ ・問 2；防災 ・問 4；治安、防犯 ・問 6；衛生、環境美化
- ・問 8；歴史文化 ・問 10；健康、運動 ・問 12；生きがい、生涯学習
- ・問 15；地域活動への参加 ・問 17；リーダー育成のしくみ ・問 18；互助
- ・問 19；福祉活動への参加 ・問 20；子どもの健全育成 ・問 22；子育て環境
- ・問 24；地域の情報

等についてお聞きしました。

(3) 平成 21 年度に制定した宮野地区第一期地域づくり計画(平成 21 年度～25 年度)の中から、抽出した 7 事業について

【第一期地域づくり計画の事業に対する認知や評価についてお尋ねします】

問 27 下記の**主要 7 事業**についての認知度・参加度・評価度・継続支持度についてお聞きしました。

- ① 水路及び里道の改良事業 ② 木戸山公園整備事業 ③ 地域住民と県立大生との交流事業
- ④ 宮野キッズ守り隊 ⑤ 防災に係る講演・訓練キャンプ ⑥ 石州街道ウォーキング
- ⑦ 歴史・文化・自然写真コンテスト



(4) 地域の課題(5 分野 25 項目抜粋)について、解決に取り組む必要度

【**地域課題解決の取り組み**についてお尋ねします】

問 28 5 分野 25 項目の取り組みについて、**必要度合いを**

5 段階評価と協力意欲の有無についてお聞きしました。

【 自由記入欄 】

問 29 次期計画期間(平成 26 年度～30 年度)ではどのような

事業に取り組むべきか、分野ごとに自由記入して頂きました。

問 30 自由意見を記入して頂きました。

5 分野とは
「生活・環境分野」
「安心・安全分野」
「地域福祉分野」
「健康・体育分野」
「文化・伝統分野」
になります。



ここで、いくつかの集計結果を紹介します。

生活・環境の分野

問6 あなたのお住まいの地域は、清潔で衛生的な生活ができる環境になっていると思いますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
そう思う	59.5%	71.4%	67.1%	83.6%	65.9%	65.3%	65.1%	68.1%
どちらともいえない	32.9%	24.3%	26.3%	9.0%	22.7%	21.3%	23.8%	23.2%
そう思わない	7.6%	4.3%	6.6%	7.5%	11.4%	13.3%	11.1%	8.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	男性	女性	合計
そう思う	63.1%	72.2%	67.9%
どちらともいえない	26.7%	20.2%	23.3%
そう思わない	10.2%	7.7%	8.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

年代別としては、50代の方が最も多く衛生的と回答され、性別のみで表にすると、女性の方が衛生的と答えられていることが伺えます。年代・性別共に、50%を上回る高水準での回答を頂いています。



安心・安全の分野

問3 あなたはこの1年間に、何らかの防災活動に参加しましたか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
した	11.4%	11.4%	14.5%	22.1%	18.2%	12.0%	12.9%	14.3%
していない	88.6%	88.6%	85.5%	77.9%	81.8%	88.0%	87.1%	85.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

大きな災害・被害がない宮野で、ほぼ半数が防災対策に満足している状況ですが、防災に対する備え、意識の低さが伺えます。

“もしも”に備える必要性を考慮し、発信していくことが課題であることが見えてきました。

	男性	女性	合計
した	15.6%	13.3%	14.4%
していない	84.4%	86.7%	85.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%



地域福祉の分野

問 18 あなたのお住まいの地域では、互いの助け合い・支え合いが
できていると思いますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
相互扶助できている	39.7%	33.3%	36.0%	42.6%	34.1%	36.1%	52.5%	39.2%
どちらともいえない	43.6%	53.6%	52.0%	42.6%	56.8%	50.0%	39.3%	48.0%
相互扶助できていない	16.7%	13.0%	12.0%	14.7%	9.1%	13.9%	8.2%	12.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	七房存内	中村存内	恋路存内	桜畠存内	合計
相互・助できている	41.3%	49.0%	36.2%	35.2%	39.1%
どちらともいえない	41.3%	44.9%	49.5%	50.8%	48.0%
相互・助できていない	17.5%	6.1%	14.3%	14.1%	12.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



隣近所の互助は4割程度の
肯定的な認識です。地域(存
内)間での差があることが伺
えます。
助け合いの地域を創造して
いく必要があります。



健康・体育の分野

問 11 あなたは週1回以上、運動をしていますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
はい	45.6%	40.0%	36.8%	45.6%	56.8%	65.3%	72.6%	51.1%
いいえ	54.4%	60.0%	63.2%	54.4%	43.2%	34.7%	27.4%	48.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	男性	女性	合計
はい	53.3%	49.0%	51.1%
いいえ	46.7%	51.0%	48.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

主観的な健康観は、8割程度の方が「健康である」と肯定的
ですが、健康維持を目的とする運動の取り組み状況は、
半数あまりの方々が何らかの運動を週1回以上行っている
ことが分かります。

年代別にも、社会人となり家事・育児に追われる年代が低
く、健康維持の必要性を意識する年代が、高くなっている
ようです。

全年齢層の運動率を高める必要性があることが伺えます。



文化・伝統の分野

問8 あなたは宮野の歴史や文化について知っていますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
知っている	20.5%	22.9%	32.9%	35.3%	38.6%	53.3%	66.1%	37.8%
知らない	79.5%	77.1%	67.1%	64.7%	61.4%	46.7%	33.9%	62.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	七房存内	中村存内	恋路存内	桜畠存内	合計
知っている	42.4%	44.4%	33.3%	53.9%	38.0%
知らない	57.6%	55.6%	66.7%	64.1%	62.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

認知度は4割程度ですが、年齢別にみると、年齢が高くなるに従って高くなり、若齢層と高齢層では、3倍以上の差があります。私たちが生活する「宮野」の歴史・文化の継承活動の必要性が伺えます。

地域の歴史や文化に触れる活動(史跡を訪れ、視聴体験し、識者に学ぶ)を活性化し、地域づくりの社会的資源として有効活用する必要があります。



主要7事業について

問27 平成21年度に策定した、宮野地区第一期地域づくり計画の中から、抽出した主要7事業についての「認知度」と「継続支持度」をお聞きしました。

①水路及び里道の改良事業を実施していることを知っていますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
知っている	11.5%	12.9%	23.7%	30.3%	23.3%	32.9%	40.4%	24.3%
知らない	88.5%	87.1%	76.3%	69.7%	76.7%	67.1%	59.6%	75.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

水路及び里道の改良事業は次期計画期間でも継続すべきですか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
継続すべきと思う	17.3%	17.4%	28.9%	34.8%	19.0%	31.4%	46.3%	27.7%
継続すべきと思わない	2.7%				2.4%			0.7%
わからない	80.0%	82.6%	71.1%	65.2%	78.6%	68.6%	53.7%	71.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



②木戸山公園整備事業を実施していることを知っていますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
知っている	19.2%	37.1%	39.5%	66.7%	67.4%	77.1%	72.7%	52.0%
知らない	80.8%	62.9%	60.5%	33.3%	32.6%	22.9%	27.3%	48.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

木戸山公園整備事業は次期計画期間でも継続すべきですか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
継続すべきと思う	20.0%	24.3%	35.5%	47.0%	55.8%	50.0%	62.3%	40.2%
継続すべきと思わない	1.3%	5.7%	2.6%		2.3%	7.1%		2.9%
わからない	78.7%	70.0%	61.8%	53.0%	41.9%	42.9%	37.7%	57.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



③地域住民と県立大生との交流事業を実施していることを知っていますか？

(大交流会、着物喫茶、徒歩ツアー等)

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
知っている	26.9%	45.7%	51.3%	63.6%	55.8%	56.9%	57.9%	50.2%
知らない	73.1%	54.3%	48.7%	36.4%	44.2%	43.1%	42.1%	49.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域住民と県立大生との交流事業は次期計画期間でも継続すべきですか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
継続すべきと思う	26.7%	27.1%	37.3%	39.4%	37.2%	38.0%	40.4%	34.7%
継続すべきと思わない	4.0%		2.7%	1.5%	2.3%	1.4%	1.9%	2.0%
わからない	69.3%	72.9%	60.0%	59.1%	60.5%	60.6%	57.7%	63.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



④宮野キッズ守り隊事業を実施していることを知っていますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
知っている	55.1%	77.1%	81.6%	77.3%	60.5%	63.9%	66.1%	69.2%
知らない	44.9%	22.9%	18.4%	22.7%	39.5%	36.1%	33.9%	30.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

宮野キッズ守り隊事業は次期計画期間でも継続すべきですか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
継続すべきと思う	51.9%	62.9%	68.4%	60.6%	58.1%	54.9%	52.7%	58.7%
継続すべきと思わない		1.4%	1.3%		2.3%		1.8%	0.9%
わからない	48.1%	35.7%	30.3%	39.4%	39.5%	45.1%	45.5%	40.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



⑤防災に係る講演・訓練キャンプ事業を実施していることを知っていますか？

「性別・年齢問わず」、認知度・参加度・成果評価度・継続支持度を、一覧表にしてみました。

	合計
実施していることを知っている	32.9%
参加したことがある	10.1%
成果をあげていると思う	14.0%
次期計画期間でも継続すべきと思う	36.9%

災害の少ない宮野地域の防災対策について、多少なりとも不安と回答された方が43%に達しています。防災対策には様々な内容が含まれますが、防災訓練等の取り組みが不可欠です。防災活動への参加者を増やすためには、必要性の認知度を高めるための意識啓発事業や活動機会の拡大が必要です。



⑥石州街道ウォーキングを実施していることを知っていますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
知っている	5.1%	10.0%	17.1%	21.2%	18.6%	38.9%	30.5%	19.8%
知らない	94.9%	90.0%	82.9%	78.8%	81.4%	61.1%	69.5%	80.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

石州街道ウォーキング事業は次期計画期間でも継続すべきですか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
継続すべきと思う	9.3%	7.1%	11.8%	22.7%	23.8%	25.7%	26.9%	17.3%
継続すべきと思わない	1.3%	2.9%	2.6%			2.9%		1.6%
わからない	89.3%	90.0%	85.5%	77.3%	76.2%	71.4%	73.1%	81.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



⑦歴史・文化・自然写真コンテスト事業を実施していることを知っていますか？

	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
知っている	17.7%	17.1%	25.0%	31.8%	23.3%	44.4%	43.1%	28.7%
知らない	82.3%	82.9%	75.0%	68.2%	76.7%	55.6%	56.9%	71.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

歴史・文化・自然写真コンテスト事業は次期計画期間でも継続すべきですか？

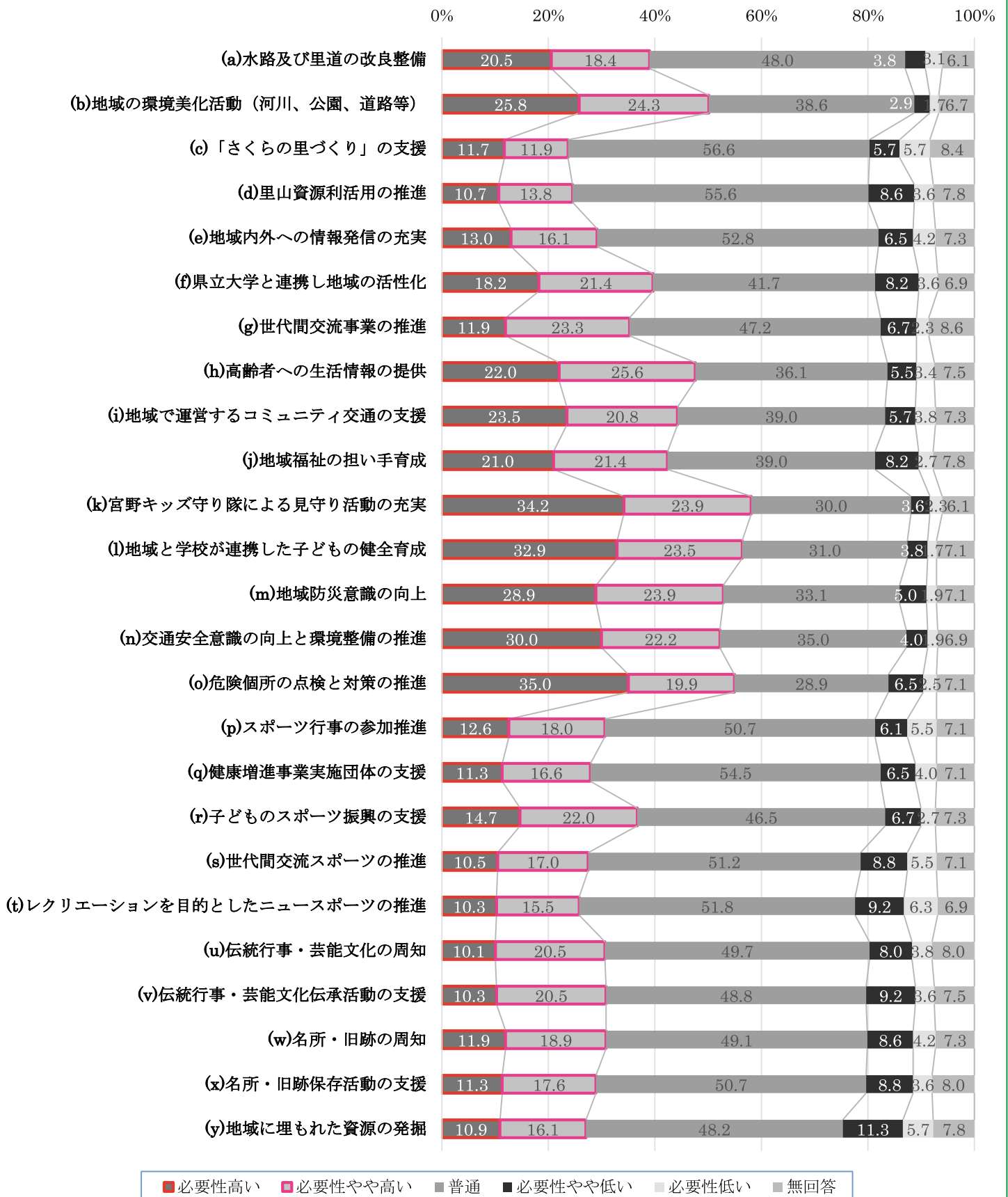
	10-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
継続すべきと思う	16.2%	20.0%	19.7%	28.8%	27.9%	29.6%	28.3%	23.8%
継続すべきと思わない		7.1%	1.3%	4.5%		2.8%		2.4%
わからない	83.8%	72.9%	78.9%	66.7%	72.1%	67.6%	71.7%	73.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問 28-1 あなたの住まいの地域について、解決に取り組む必要性がどの程度あるか、お聞きします。

地域課題として 25 項目を揚げ、それぞれについて解決の必要度を 5 段階で尋ねたところ、
下図のような結果となりました。

問28-1 地域課題解決事業の必要度



課題の必要性について、分析してみました。

解決に取り組む「必要性高い」「必要性やや高い」を併せた数値が回答者の50%を超えた事業は以下の6項目あります。

- (k)「宮野キッズ守り隊による見守り活動の充実」(58.1%)
- (l)「地域と学校が連携した子どもの健全育成」(56.4%)
- (o)「危険個所の点検と対策の推進」(54.9%)
- (m)「地域防災意識の向上」(52.8%)
- (n)「交通安全意識の向上と環境整備の推進」(52.2%)
- (b)「地域の環境美化活動」(50.1%)

でした。

また、同様に40%を超えた事業は3項目あります。

- (h)「高齢者への生活情報の提供」(47.6%)
- (i)「地域で運営するコミュニティ交通の支援」(44.3%)
- (j)「地域福祉の担い手育成」(42.4%)

でした。



さらに、同様に30%を超えた事業を高い順に列記すると、

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ①「県立大学と連携した地域の活性化」(39.6%) | ②「水路及び里道の改良整備」(38.9%) |
| ③「子どものスポーツ振興の支援」(36.7%) | ④「世代間交流事業の推進」(35.2%) |
| ⑤「名所・旧跡の周知」(30.8%) | ⑥「伝統行事・芸能文化伝承活動の支援」(30.8%) |
| ⑦「スポーツ行事の参加推進」(30.6%) | ⑧「伝統行事・芸能文化の周知」(30.6%) |

と、以上の8項目でした。



- 編集後記 -

第二期地域づくり計画策定にあたっては、各町内会長をはじめ、回答して頂いた477名の皆様に心より感謝申し上げます。地域の皆様や各種団体との連携・融和を図ると共に、地域課題の解決に向けた活動を活性化し、安心・安全な地域づくりを進めます。

皆さまより頂いた、多くの声を活かした活動を協議会内で協議し、実践していく所存です。これからも、地域づくり協議会へのご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

宮野地区第二期地域づくり計画

第二期地域づくり計画(平成26年～30年)作成に伴うアンケート調査の集計等により、各部会で協議を重ね、本年度みやの地域づくり協議会総会で、次の様に承認されました。



①領域	②地域の課題	③将来像	④取組方針	⑤事業
生活・環境	人権を尊重する必要がある	人権が尊重される地域	意識啓発活動の推進	人権学習講演会支援事業
	生活道及び水路の整備が不十分である	未整備箇所が少ない地域	整備事業の啓発活動の推進	土木工事
	環境美化の維持・向上が求められている	美化活動の盛んな地域	憩いの場所づくりの推進	木戸山公園整備事業
			川の美化の推進	河川水質保全活動事業
			ゴミのない地域づくり	クリーン月間啓発事業
				不法投棄防止看板設置事業
				巡回パトロール実施事業
			さくらの里づくり	さくらの里づくり維持管理事業
	里山資源の利活用が不十分である	里山資源の利活用の盛んな地域	里山資源の活用推進	里山資源利用団体支援事業
	県立大学との交流による地域の活性化が求められている	県立大学との交流が盛んな地域	地域と県立大学との交流を推進	地域と県立大学の交流会支援事業
				着物喫茶支援事業
				まち歩き支援事業
地域福祉	相互扶助が不十分である	助け合いの地域	声掛け運動の推進	あいさつ運動事業
	地域福祉活動への参加が不十分である	地域福祉活動の進んだ地域	地域福祉活動の推進	救命講習会開催事業
				ふれあい・いきいきサロン活動支援事業
				はつらつ健康増進事業
	少子化が進んでいる	子育てしやすい地域	子育て支援の推進	未就学児育成支援事業
	独居老人が増えている	一人暮らしでも安心して生活できる地域	世代間交流事業の推進	世代間交流グラウンドゴルフ大会開催事業
			生活情報提供の推進	健康福祉講演会開催事業
	交通弱者が多い	交通に不便を感じない地域	高齢者向け交通体系の支援	コミュニティ交通支援事業

〈注釈〉

- ①領域(部会)……………地域課題には相互に関連があるので、部会を設定し、効率性を高めます。
- ②地域の課題……………地域づくり協議会として取り組む課題になります。
- ③将来像(中期目標)……………課題が解決された時点での、理想的と思える地域社会の在り方を記載しています。計画期間における「目標」となります。
- ④取組方針(中期計画)……………現状と課題を踏まえ、「将来像」を実現する事業の基本方針です。複数の年度事業に共通する方針を記載する。
- ⑤事業……………「取組方針」に基づき実施する、具体的な取り組みです。

つづいて、「安心・安全」、「健康・体育」、「文化・伝統」の、3部会の計画です。

①領域	②地域の課題	③将来像	④取組方針	⑤事業
安心・安全	治安対策が不十分である	安心して暮らせる治安のよい地域	防犯意識の向上	防犯講演会開催事業
			防犯活動の推進	宮野キッズ守り隊運営事業
				こども110番の家普及・啓発事業
			防犯設備の充実	防犯灯設置補助事業
			青少年健全育成の推進	青少年健全育成活動支援事業
	交通安全が不十分である	交通事故のない地域	交通安全意識の向上	交通安全教室支援事業
			交通安全活動の推進	立哨活動支援事業
			交通安全設備の充実	反射鏡点検事業
				反射鏡設置補助事業
	防災に対する安心感が不十分である	防災意識の高い地域	防災意識の向上	防災訓練キャンプ開催事業
				防災講演会開催事業
			防災活動の推進	自主防災組織補助事業
健康・体育	健康維持の運動が不足している	健康づくりの盛んな地域	楽しくふれあえる健康づくりの推進	ウォーキング開催事業
				三世代プチ運動会開催事業
				健康体力測定事業
	地域の運動行事への参加が不十分である	運動行事に参加しやすい地域	啓発活動の推進	地域運動行事広報活動
文化・伝統	地域の歴史や文化が知られていない	歴史や文化を情報共有する地域	情報提供の推進	みやの歴史講座開催事業
				文化財・名所・旧跡等マップ作成・活用事業
				歴史・文化・自然写真コンテスト事業
			名所・旧跡の保全活動の推進	名所・旧跡等保全促進看板調査・設置事業
				名所・旧跡等保全活動啓発事業
	文化活動への参加が不十分である	文化活動が進んだ地域	文化活動の推進	伝統芸能周知事業
				ホタルまつり支援事業
				観桜会支援事業
				祇園裸坊参加支援事業
			生涯学習活動の推進	宮野まつり支援事業